

平成19年1月19日

各位

会社名 株式会社アルプス技研  
 代表者の役職名 代表取締役社長 池松邦彦  
 (コード番号4641 東証第一部)  
 問合せ先 取締役 経営企画部長 山崎國秀  
 TEL 042-774-3333

## 特別損失発生ならびに通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成18年10月26日に公表した平成18年12月期(平成18年1月1日～平成18年12月31日)の連結および個別業績を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 平成18年12月期の連結業績予想の修正(平成18年1月1日～平成18年12月31日) (金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	21,800	1,650	1,610	740
今回修正予想(B)	21,592	1,586	1,488	407
増減額(B-A)	△208	△64	△122	△333
増減率(%)	△1.0	△3.9	△7.6	△45.0
(ご参考) 前期実績(平成17年12月期)	20,536	1,589	1,601	801

## 2. 平成18年12月期の個別業績予想の修正(平成18年1月1日～平成18年12月31日) (金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	18,400	1,550	1,600	700
今回修正予想(B)	18,208	1,504	1,570	433
増減額(B-A)	△192	△46	△30	△267
増減率(%)	△1.0	△3.0	△1.9	△38.1
(ご参考) 前期実績(平成17年12月期)	17,277	1,364	1,418	684

## 3. 修正の理由

当社は次世代DVDの中核デバイスである光ピックアップ技術の将来性にかねてより着目し、市場の立ち上げに備え、同製品の検査装置で高い技術力を持つ開発企業(持分法適用会社)に資本参加等をはじめとする支援を行ってまいりました。しかし次世代DVD需要の本格拡大は当初見通しに比し遅れる一方、開発費負担が先行しているため、同社の業績回復には今しばらく時日を要する見込みです。このため、財務の健全化の観点より、同社に対する債権・債務保証・株式の全額に対して引当て・評価損などを特別損失(連結で663百万円、個別で863百万円)にて計上することといたしました。

中核である技術者派遣事業につきましては、引き続き旺盛な需要が持続しておりほぼ見込みどおりであります。上記により業績予想を修正するものです。

## 4. 配当予想について

一株当たり配当予想(期末40円00銭)につきましては、変更ありません。

以上